

ふくしのまちづくり 第一次計画

2026 ▶ 2030



愛あふれるまち 永犬丸

永犬丸校区社会福祉協議会

永犬丸校区の福祉活動につきましては、日頃よりご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

永犬丸校区社会福祉協議会は平成7年に設立し30年目を迎えました。そして当初の基本理念は「明るい思いやりの町 永犬丸」とし、重点目標は「住民相互の助け合いと、交流を推進して福祉の充実」に基づき取り組みを進めてきました。

その間、高齢化の進行（例えば一人暮らし高齢者の増加、福祉協力員の高齢化と減少）および自治区会への加入率低下により近隣の人との交流が少なくなっている等の問題が生じています。

なお、世帯数、人口および高齢化率は第2章の地域の特性を参照してください。

今回、令和7年度に入り、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまち」を作るために永犬丸校区ふくしのまちづくり計画策定委員会を設置し、校区の現状や課題等について協議を重ね、基本理念は「愛あふれるまち永犬丸」として、基本目標、実施項目、重点実施項目等の計画を決定し、令和8年から令和12年の5年間を定め、現在、実施している活動を活かしながら、その実現に向けて段階的に取り組むこととなりました。

最後に、この計画の策定にご尽力いただきました策定委員および関係者の皆様に感謝を申し上げ、今後の計画推進へのご協力をお願いし、ご挨拶といたします。

令和8(2026)年3月



永犬丸校区社会福祉協議会
会長 藤島 彰

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 永犬丸校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 現在地域で実施している項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、永犬丸校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための行動計画です。

(2) 永犬丸校区の生活を支える計画

この計画は、永犬丸校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 永犬丸校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和8(2026)年度～令和12(2030)年度までの5ヵ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

永犬丸校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、地域福祉に関する計画を策定するため、永犬丸校区ふくしのまちづくり計画策定委員会を設置し、永犬丸校区ふくしのまちづくり計画を策定しました。



第2章 永犬丸校区の現状と課題

1 地域の特性

	平成 6(1994)年	平成 22(2010)年	令和 7(2025)年
世帯数	2,467 世帯	3,522 世帯	3,746 世帯
人口	6,564 人	8,767 人	8,094 人
14 歳以下	950 人 (14.5%)	1,730 人 (19.7%)	882 人 (10.9%)
15 歳～64 歳	4,464 人 (68.0%)	5,275 人 (60.2%)	5,082 人 (62.8%)
65 歳以上	1,150 人 (17.5%)	1,762 人 (20.1%)	2,130 人 (26.3%)

出所：北九州市住民基本台帳

<地域に関わる施設>

市民センター	永犬丸市民センター	地域包括支援センター	八幡西 2
小学校	永犬丸小学校	中学校	永犬丸中学校、沖田中学校
高等学校	八幡南高等学校、北筑高等学校		

永犬丸校区は八幡西区の南西部に位置し、県道 281 号線沿いには商業施設、医療機関、金融機関が集まっており、生活利便性の高い地域です。筑豊電鉄の電停は今池・永犬丸・三ヶ森の 3 駅が利用でき、公共交通の面でも恵まれています。一方で、住宅地の多くは丘陵地に広がっているため坂道が多く、場所によっては移動や買い物が不便になる地域もあります。

2 地域の福祉課題

■人と人とのつながりが薄れ、地域で支え合う力が弱まっています。

地域で顔を合わせる機会が減り、住民同士のつながりが以前より感じにくくなっています。地域の情報を伝える方法が限られているため、行事や地域の動きが住民に届きにくい現状があります。特にマンションでは、近所の人と話すきっかけが少なく、つながりが生まれにくい状況です。

また、地域行事や見守り活動を支える担い手も少なくなっています。そのため、困ったときに声をかけ合ったり、日常的に見守り合ったりする力が弱まり、地域全体の支え合いの仕組みが十分に働きにくくなっています。こうした状況が続く中で、安心して暮らし続けられる地域を守るためには、自分たちの町や住んでいる人を知り、住民同士のつながりをもう一度育てていくことが必要です。



第3章 計画体系

永犬丸校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取組みを定めました。

1 基本理念

「愛あふれるまち永犬丸」

2 基本目標

(1) 気軽に楽しく世代を越えてふれあおう

もちつき大会や健康づくりウォーキング、市民センターふれあいまつりなどを通して、子どもから高齢者までが気軽に集い、楽しく交流できる機会を広げます。多世代がふれあい、にぎわいと活気のあるまちを育てていきます。

(2) 助け合いひとりにしない愛するまちをつくっていこう

見守り訪問活動や敬老会、サロンなどの交流の場を大切にし、住民同士が気軽に声をかけ合い、助け合える関係づくりを進めます。また、自治区会や市民センターで行っている地域の清掃活動や集団資源ごみ回収を通して住みよい環境を守ります。夜間パトロールや歳末の見回りなどの防犯活動にも取り組み、犯罪や事故を未然に防ぐ体制を整え、誰もが安心して暮らせるまちをつくります。

(3) ふるさとを愛する子どもを育もう

登下校の見守りや放課後の居場所づくり、子ども交流事業などを通して、地域全体で子どもたちを支えていきます。昔あそびや体験活動、季節の行事を取り入れ、子どもたちが「永犬丸が好き」と思えるような学びとふれあいの場を広げていきます。

策定委員会の様子



3 現在地域で実施している項目（体系図）

	[基本目標]	[主な取組み]
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「基本理念」 愛あふれるまち永犬丸</p>	<p>気軽に楽しく 世代を越えて ふれあおう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶市民センターふれあいまつり【市民センター、まち協等】 ▶ソフトボール大会【永犬丸自治区会】 ▶グラウンドゴルフ大会【永犬丸自治区会、市民センター、老人会】 ▶バスハイク【まち協、社協】 ▶盆踊り【永犬丸東自治区会、永犬丸東区公民館】 ▶ニュースポーツ交流会【市民センター、社協】 ▶健康づくりフェア【まち協、市民センター】 ▶健康ウォーキング【まち協】 ▶どんど焼き【永犬丸自治区会】 ▶もちつき大会【社協】 ▶歩くサッカー【社協】
	<p>助け合い ひとりにしない 愛するまちを つくっていこう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶見守り訪問活動【社協、民児協】 ▶老人会活動【老人会】 ▶敬老会【永犬丸自治区会、永犬丸東自治区会】 ▶らんらん♪ランチ永犬丸【市民センター、まち協、社協】 ▶永犬丸サロン【市民センター、社協】 ▶公園清掃【公園愛護会】 ▶一斉清掃【町内会】 ▶花咲く街かどづくり事業【市民センター、まち協、公園愛護会】 ▶集団資源ゴミ回収【町内会、自治区会、まち協】 ▶夜間パトロール【市民センター、まち協、永犬丸小学校 PTA】 ▶歳末パトロール【自治区会】
	<p>ふるさとを愛する 子どもを育もう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶登下校時の見守り・声かけ【まち協、自治区会、地域ボランティア】 ▶永犬丸放課後児童クラブ【児童クラブ運営委員会】 ▶クレヨンクラブ（地域子ども交流事業）【市民センター、まち協】 ▶どんぐりっこ（子育て支援サークル）【市民センター、まち協、社協】 ▶昔あそび・火起こし体験・もちつき大会 【永犬丸小学校、市民センター、まち協】 ▶ふれあい子どもまつり【市民センター、まち協、社協】

- ・ 社会福祉協議会（社協）
- ・ まちづくり協議会（まち協）
- ・ 永犬丸東区公民館
- ・ 永犬丸市民センター
- ・ 永犬丸小学校 P T A

- ・ 民生委員児童委員協議会（民児協）
- ・ 永犬丸自治区会
- ・ 老人会
- ・ 児童クラブ運営委員会
- ・ 地域ボランティア
- ・ 永犬丸東自治区会
- ・ 公園愛護会
- ・ 永犬丸小学校



4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係団体・機関と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していくことにしました。

重点実施項目①		防災をきっかけに、自分の町と住んでいる人を知ろう						
1 課題背景及び地域の現状								
<ul style="list-style-type: none"> ・坂道の多い地域特性により、移動や避難に配慮が必要な箇所がある。 ・地域の掲示板がなく、回覧板を回しても、一度も会うことがない。 ・活動内容が地域に周知できない。 ・災害が少ない地域であるため、「防災意識」をつくっていく必要がある。 								
2 活動の方針・目標								
<ul style="list-style-type: none"> ・防災の観点を含め、地域を知ってもらえるような企画に取り組む。 ・地域の情報を発信し、共有する。 ・住んでいる人を知り、災害時に助け合える体制づくりを目指す。 								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容	連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考	
町探検のイベント開催	市民防災会 消防局、消防団 市民センター 各自治区会 まち協						・災害の起きやすい場所や避難経路の確認等を通して、住んでいる人を知る	
災害時の互助体制づくり	市民防災会 消防局、消防団 市民センター 各自治区会 まち協							・社協、まち協、自治区会が三位一体となった組織づくり ・一人暮らし高齢者、町内会未加入者等
地域掲示板を利用した地域行事のお知らせ	自治区会	現状調査 						・掲示板の個数を調査→マップを作成する ・実行委員会の立ち上げ→新規の設置場所や掲載内容を検討
情報の周知方法について話し合う	自治区会	体制づくり 	話し合い 					



重点実施項目②		人とつながり、活動を広げ、安心して暮らせるまちへ					
1 課題背景及び地域の現状							
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の人と交流することが少なくなっている。マンション入居者のつながりが少ない。 ・福祉協力員などの地域で活動する方が少なくなり、固定化している。 ・坂が多く、循環バスが廃止され、移動に困っている。歩いて行くにはお店が遠く、買い物が大変な地域がある。 ・一人暮らし高齢者等の見守り体制を整える必要がある。 							
2 活動の方針・目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・社協活動を知ってもらい福祉協力員などの活動者の増加と見守りの日常化を目指す。 ・若い世代、子育て世帯などへ呼びかけ、地域活動への参加の機会をつくる。 ・世代を越えて参加できる行事を開催する。 ・複数のイベントと併せて開催し、参加者を増やす。 							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考
見守り活動	福祉協力員の増員	話し合い 					
	福祉協力員による見守り活動	自治区会					・日頃の生活の中で気にかける ・市政日より配付時にもさりげなく見守る
	登下校の見守り	まち協見守り隊					
人とのつながりづくり	歩くサッカー	学校					・全年齢層で楽しめる交流スポーツ
	地域みんなでフリーマーケット	自治区会					・地域みんなで楽しく参加、エコ活動
	高齢者のための健康づくりフェア	市民センター					・外出が少ない方に周知して参加してもらう
	サロン活動	市民センター					・定期的に行うことで、楽しい予定になり、生活に張りができる
	イベントを検討する						(例) 映画の試写会、囲碁大会、五目並べ大会
校区社協だよりの作成	自治区会	話し合い					・社協を広く知ってもらい、福祉協力員を増やす(市社協ホームページの活用)
買い物支援の検討		顧客調査検討					・他校区の取組を視察する ・移動スーパー、巡回タクシー、買い物支援バス等
住民を対象とした講座の開催							・警察、消防などに講師を依頼



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた地域住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) ふくしのまちづくり計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、永犬丸校区ふくしのまちづくり計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

永犬丸校区ふくしのまちづくり計画推進委員会を年度に数回程度開催します。

(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【永犬丸校区ふくしのまちづくり計画の策定経過】

1 永犬丸校区ふくしのまちづくり計画策定委員会委員名簿

	氏 名		氏 名
1	藤島 彰	14	河内 政明
2	野尻 茂	15	猪谷 田鶴子
3	和田 正俊	16	藤野 正次
4	向江 亜矢子	17	大石 美紀子
5	渡辺 精治	18	大橋 俊雄
6	富永 陽子	19	仲川 幹夫
7	松本 ひとみ	20	淵上 正彦
8	乗秀 万起子	21	小野 省三郎
9	古賀 周一	22	八倉 ひとみ
10	西澤 満子	23	加来 賢大
11	津留 玄一郎	24	石打 加代子
12	村上 晋子	25	折田 清志
13	高木 恵子	26	松本 直彦

2 永犬丸校区ふくしのまちづくり計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R7年7月4日(金)	・地域の課題、良い所、既存活動、資源の洗い出し
2	R7年9月5日(金)	・既存活動を体系的に整理 ・基本理念、基本目標の設定
3	R7年10月3日(金)	・既存活動を体系的に整理(体系図の完成) ・重点実施項目の選定
4	R7年12月5日(金)	・重点実施項目の取組み内容
5	R8年2月6日(金)	・重点実施項目の単年度計画作成 ・計画書及び概要版の構成
6	R8年3月6日(金)	・計画書及び概要版の構成、編集、部数等の確認



社会福祉協議会のイメージキャラクター プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (サウルス≒恐竜)



お問合せ

永犬丸校区社会福祉協議会

〒807-0847 北九州市八幡西区美原町 9-2 永犬丸市民センター内
TEL 093-613-8006 FAX 093-613-8007

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

